

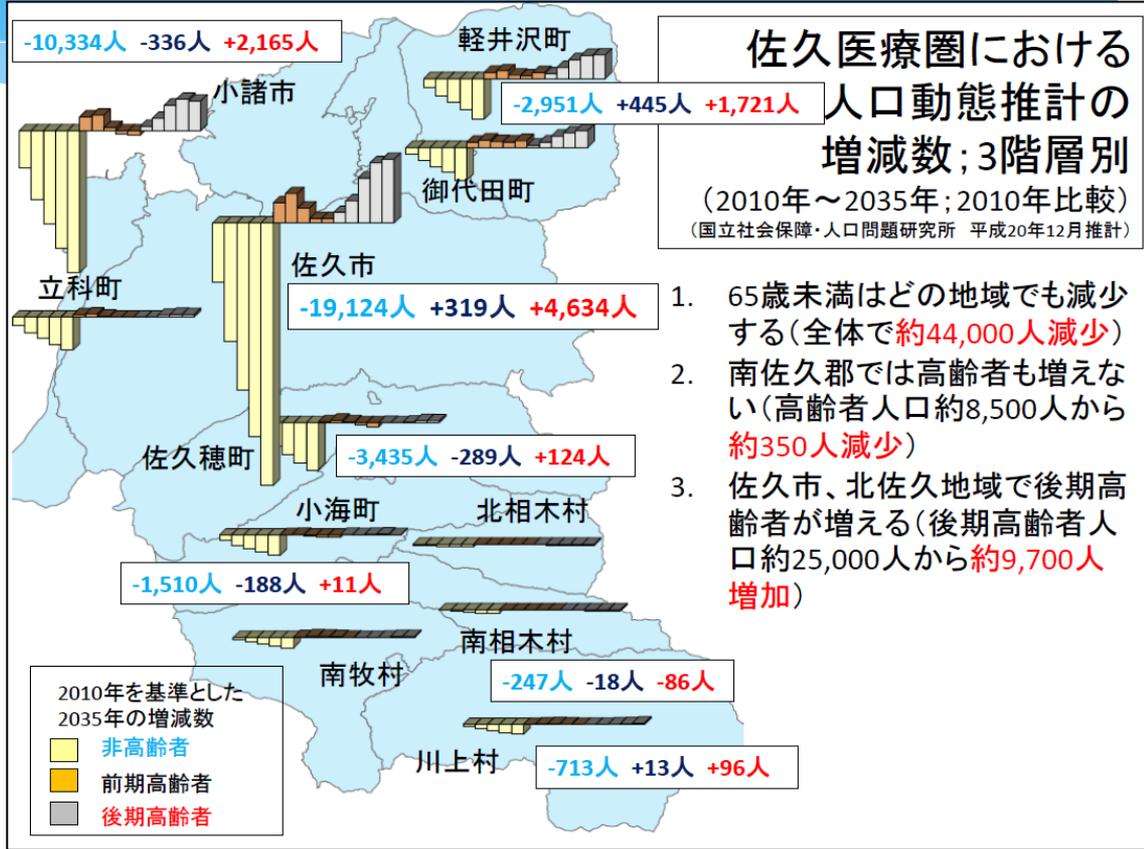
急性期病院が**変**われば、  
地域の医療・介護連携は変わる！  
～急性期病院のプライマリ・ヘルスケア活動～



JA長野厚生連 佐久総合病院

# 佐久医療圏の現状とこれから

市町村	総人口 H24.10 (人)	65歳以上 人口(人)	高齢化 率(%)
軽井沢町	19,399	5,172	26.7
御代田町	14,983	3,416	22.9
立科町	7,556	2,275	30.1
小諸市	43,601	11,865	27.2
佐久市	99,956	26,516	26.6
佐久穂町	11,762	3,769	32.0
小海町	5,038	1,819	36.1
北相木村	854	323	37.8
南相木村	1,075	413	38.4
南牧村	3,524	920	26.1
川上村	4,801	1,142	23.8



# 地域に根ざした保健予防活動



若月俊一

1910-2006

- 病院からのアウトリーチ活動を  
1945年より展開
- 農村地域の健康問題に取り組む



昭和30年ごろの巡回診療



昭和34年～八千穂村全村健康管理

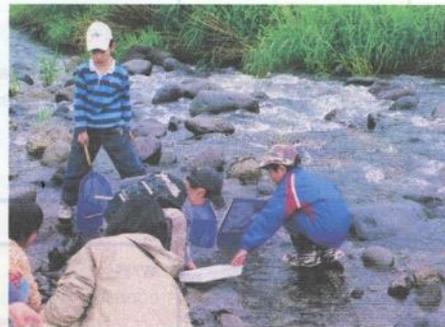


地域の祭りと同時に開催する病院祭

第17期

佐久地域  
保健福祉大学

平成17年10月29日(土)開講



(H17・6・11 環境ウォッチング・子供たちの様子)

平成元年～  
地域を支える  
人材の育成



昭和 47 年頃 集団検診後の地域住民との交流



保健補導員を組織化



昭和63年 在宅ケア実行委員会  
平成6年 地域ケア科設立  
訪問診療、訪問看護を地域に展開

# 急性期病院における医療と介護の連携推進



- \* 佐久地域の21か所にのぼる専門職種団体や医療機関・介護事業所が参加
- \* 「病院における医療と介護の連携の問題点・改善点」について86項目にわたる課題が抽出



病院内の退院支援に関わる委員会、ケアマネジャーの団体と話し合いを繰り返す



介護保険サービスを利用されている皆様へ

病院入院時のお願い

**入院される病棟へ  
介護保険証の提示を  
お願い致します。\***

※1  
退院後も安心して介護保険サービスを利用するために必要です。

介護保険被保険者証

番号	12345-67890
住所	長野県佐久市日田197
フリガナ	
氏名	佐久 花子
生年月日	昭和5年5月6日
交付年月日	平成18年4月1日
保険番号	123456
交付機関	佐久市

見本

H24年度在宅医療連携拠点事業  
佐久市・佐久医務会・佐久市在宅介護支援事業者連絡協議会と協力して取り組んでいます。



# 急性期病院における医療と介護の連携推進

## ～ケアマネジャーとの連携改善～

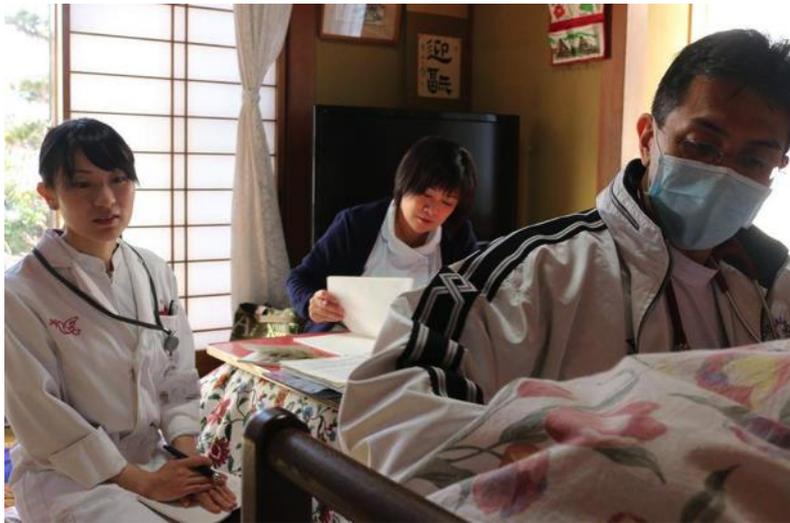
- \* ケアマネジャーの問い合わせ窓口を総合相談センターに一本化。  
総合相談センタースタッフ、病棟看護師、ケアマネジャーで入院時カンファレンスを開始。



# 交流研修

## 『顔の見える』多職種連携構築のための 事業所間の交流研修プロジェクト

- 多職種、多事業所の仕事内容を知る
- 地域で一緒に働いている「人」を知る
- 事業者間の相互理解が深まる



平成26年度  
佐久市在宅医療連携拠点事業  
『顔の見える』多職種連携構築のための  
事業所間の交流研修プロジェクト  
開始のお知らせ



佐久市は、長野県地域医療再生計画より平成25年度から27年度にかけて、「在宅医療連携拠点事業」実施自治体として採択されました。

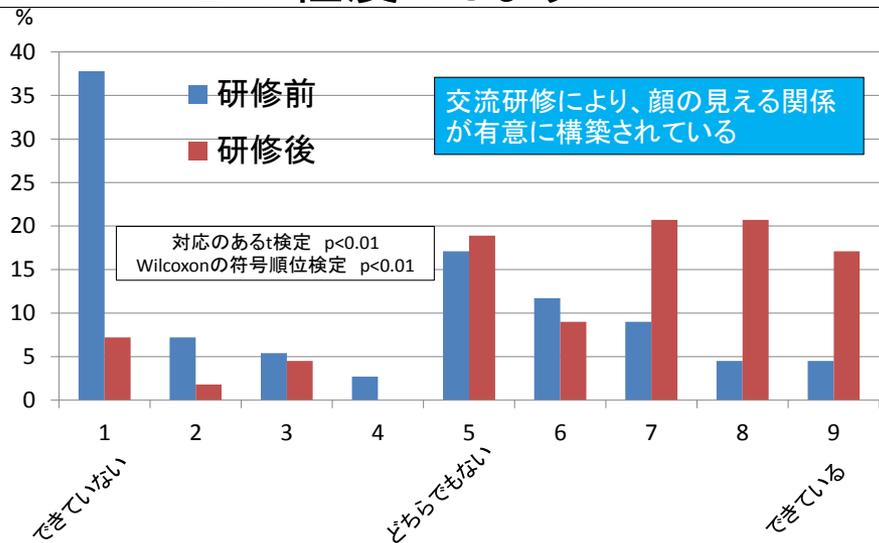
これを受け佐久総合病院は、佐久市より事業委託を受けることとなり、佐久市と協働の下、佐久地域における医療と介護の連携推進に向けて本事業に取り組んでおります。

# 顔の見える多職種連携の 効率的な方法を求めて ～交流研修事業～

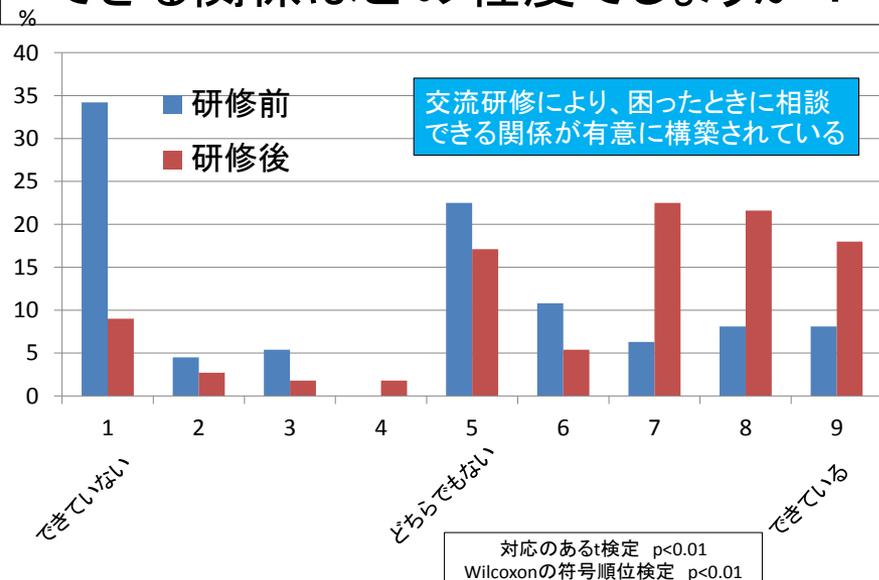
ケアマネ事業所  
⇒ 消防署へ



研修先事業所と、顔の見える関係は  
どの程度でしょうか？



研修先事業所と、困ったときに相談  
できる関係はどの程度でしょうか？



# 佐久市在宅医療・介護の連携体制推進事業の概要

元気高齢者、地域住民を  
とりまく社会環境



## 2) 地域包括ケア実践事業との連携

「地域包括実践事業」と連携し、地域の医師、地域包括支援センターを中心に介護事業所、商工会、警察、民生委員などの方たちと地域包括ケアにおける医療介護連携について検討を進めます。

## 在宅医療介護連携推進の主体



## 3) 在宅医療24時間体制の整備

佐久医師会在宅医療推進委員会にて在宅医療のバックアップ体制の整備を進めます。

## 1) 医療介護連携推進協議会の設置

佐久市が中心となり職業団体、事業団体、市内の病院などが参加し、佐久地域における円滑な医療と介護の連携と介護給付費の適正化が進むよう、課題の解決を進めます。※平成25年11月14日(木)13時～予定

## 5) 地域住民への啓発活動

市民公開講座などを通して市民と共に医療と福祉の将来を考えます。医療介護従事者のいきいきサロンへのボランティア参加を促し交流を図ります。  
※平成26年1月11日(土)午前を予定

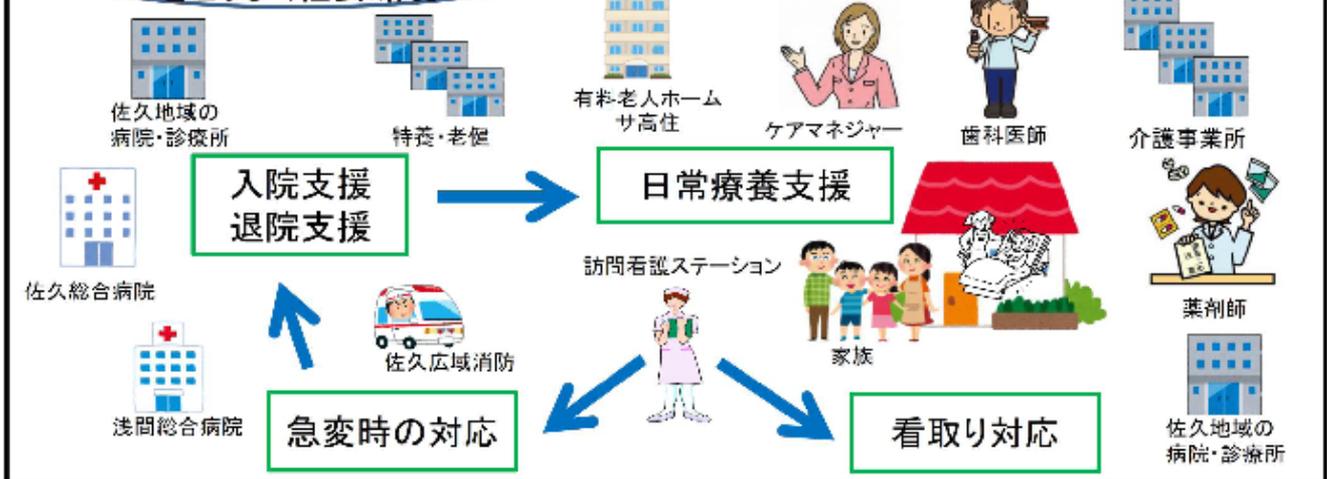
## 6) 多職種連携の促進

市内の医療、福祉関係者間で、人的交流を推進。互いに顔の見える関係を構築し、円滑な連携を目指します。また、ITシステムによる患者の情報共有を図ります。

## 7) 地域リーダーレベルアップ研修

地域の医療・福祉を牽引する多職種リーダーを育成する研修会を企画します。  
※平成26年1月11日(土)午後を予定

介護が必要な高齢者  
をとりまく社会環境



## 4) 急性期病院と介護事業所・施設との連携体制及び信頼関係の構築

佐久市、消防署、佐久総合病院、浅間総合病院、介護施設・事業所が連携し、入院時の連携・信頼の構築を進めます。  
※平成25年11月28日(木)19時～予定

# 中立的な立場での公的な協議会の設立 例) 佐久市医療介護連携推進協議会





# カフェ交流会



テーマ

## 「急性期病院における 円滑な退院調整の実現に向けて」

**参加者数：60団体 111名**

(佐久市高齢者福祉課、保健福祉事務所、各専門職種団体、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、老人保健福祉施設、特別養護老人ホーム…等)

**ワールドカフェ方式でのグループワーク**

☆多くの職種と顔を合わせながら、  
硬くならず気軽に意見を出せる場に☆



# 地域のネットワーク作り

\* 市内のコミュニティ活動を行う団体に声掛け  
(社会福祉協議会、市民サポートセンター、地区サロン等)

⇒意見交換会を開催し、

「顔の見える関係」構築とネットワーク作り

☆地域のインフォーマルな社会資源の把握

☆地域にあるインフォーマルな活動を行う団体の横のつながりを作る

# 今後の展望

- ☆急性期病院側が積極的に地域へ出て行く
  - ⇒地域と病院とがもっと身近で会話できる関係を築く
  - 地域課題の共有・地域ニーズの把握





地域に出ていき、対話を積み重ね、  
つながりをつくる